

大学院における必要な科目	
大学院における必要な科目名	具体的な科目名の例
保健医療分野に関する理論と支援の展開	M精神医学特論 (97～18) M神経心理学特論 (00～03、07～10、12、14、16) 臨床心理学特論Ⅰ＜神経心理学特論＞ (97、98)
福祉分野に関する理論と支援の展開	M発達心理学特論 (99～06、09、10、12～14、16、18) ＊ 障害児教育特論 (97、98) ＊ M障害者（児）心理学特論 (99～09、11、17、18) ＊ M臨床心理学特論＜高齢者の心理＞ (01～05) M臨床心理学専門特論B＜関係発達＞ (08) M臨床心理学専門特論B＜子どもの福祉における心理臨床＞ (09) M臨床心理学専門特論A＜学校における「軽度発達障害」児への援助とコンサルテーション＞ (09) ＊ M臨床心理学専門特論A＜パトリシア先生＞ (13、15)
教育分野に関する理論と支援の展開	M学校臨床心理学特論 (99～13、15、17) 臨床心理学特論Ⅳ（学校臨床心理学） (97、98) 障害児教育特論 (97、98) ＊ M障害者（児）心理学特論 (00～09、11、17、18) ＊ M発達心理学特論 (99～06、09、10、12～14、16、18) ＊ M臨床心理学専門特論B＜関係発達＞ (08) M臨床心理学専門特論A＜学校における「軽度発達障害」児への援助とコンサルテーション＞ (09) ＊
司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	(M臨床心理面接特論B (14～16)) M関係法規特論 (97～05、08～12、14、16、18) M社会問題特論 (98～09) M犯罪心理学特論 (18)
産業・労働分野に関する理論と支援の展開	M集団力学特論 (99～03、05～09、11、13、15～17) M臨床心理学特論A (14)
心理的アセスメントに関する理論と実践	臨床査定基礎論 (97、98) M臨床心理学査定特論A・B (99～18)
心理支援に関する理論と実践 ①力動論に基づく心理療法の理論と方法	臨床心理学基礎論 (97、98) M臨床心理学特論 (99～01) M臨床心理学特論A・B (06～18) M臨床心理学面接特論A・B (99～18)

②認知論・行動論に基づく心理療法の理論と方法	臨床心理学特論Ⅱ＜認知・行動的アプローチ＞（97, 98） 行動理論特論（98） M臨床心理学専門特論B＜認知行動療法＞（13、15） M臨床心理学専門特論A＜認知行動療法＞（17）
③その他の心理療法の理論と方法	臨床心理学特論Ⅲ＜フォーカシングと体験過程療法＞（97）
家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	M地域援助特論（00～09、11、13、15、17） M家族心理学特論（00～06、08～10、12、14、16、18） Mグループアプローチ特論（13～17） 臨床心理学特論Ⅵ＜集団療法およびコミュニティ・アプローチ＞（97, 98） M臨床心理学研究法特論＜集団精神療法＞（99）
心の健康教育に関する理論と実践	M健康心理学特論（18）
心理実践実習（450 時間以上）	M臨床心理実習A B（99～18） M臨床心理基礎実習A B（00～18）

※修了年度によって、開講科目が異なります。（ ）内数字は開講年度です。

※ ＊…他の領域と重複している科目です。

原則として、一貫して開講されている科目を原則にして、判断してください。

その上で必要な場合に、都度開講されてきた専門特論などの科目や（ ）内の科目を活用してください。

※移行措置の条件（どの領域を何科目履修していればよいか）につきましては、下記の3つをすべて満たしている場合となります。

- ①「保健医療分野に関する理論と支援の展開」、「福祉分野～」、「教育分野～」、「司法・犯罪分野～」、「産業・労働分野」の中で、「保険医療分野～」を含む3科目以上を履修していること。
- ②「心理的アセスメント～」、「心理支援～」、「家族関係・集団～」、「心の健康教育～」の中で2科目以上履修していること。
- ③「心理実践実習」を履修していること（施設の分野および時間数は問わない）

その上で分からないことは、公認心理師問い合わせ先（koninshinrishi@mail.tais.ac.jp）に問い合わせてください。